

電気・電子等分野における
パテントプールの現状と課題
Patent Pools in Electronics Industry
- the Present & Future -

三菱電機株式会社
Mitsubishi Electric Corporation

加藤 恒
Hisashi Kato

1. なぜパテントプールが注目されたか？

Why are Patent Pools paid attention?

- 技術の高度化と複雑化 *Advanced and complexity in cutting-edge technologies*
一部企業が技術全体を支配できる時代ではなくなった
- 知的財産権の重視 *Great Importance on Intellectual Properties*
米国のヤングレポート、日本の知財推進計画等により、知財収益を次の開発投資に循環させる流れが定着
- 技術標準化とルール *Standardization and Rules*
RANDルールの遵守と、TBT協定の国際標準優位性

2. パテントプールのメリットとデメリット

Merit & Demerit of Patent Pools

- 長所 Merit

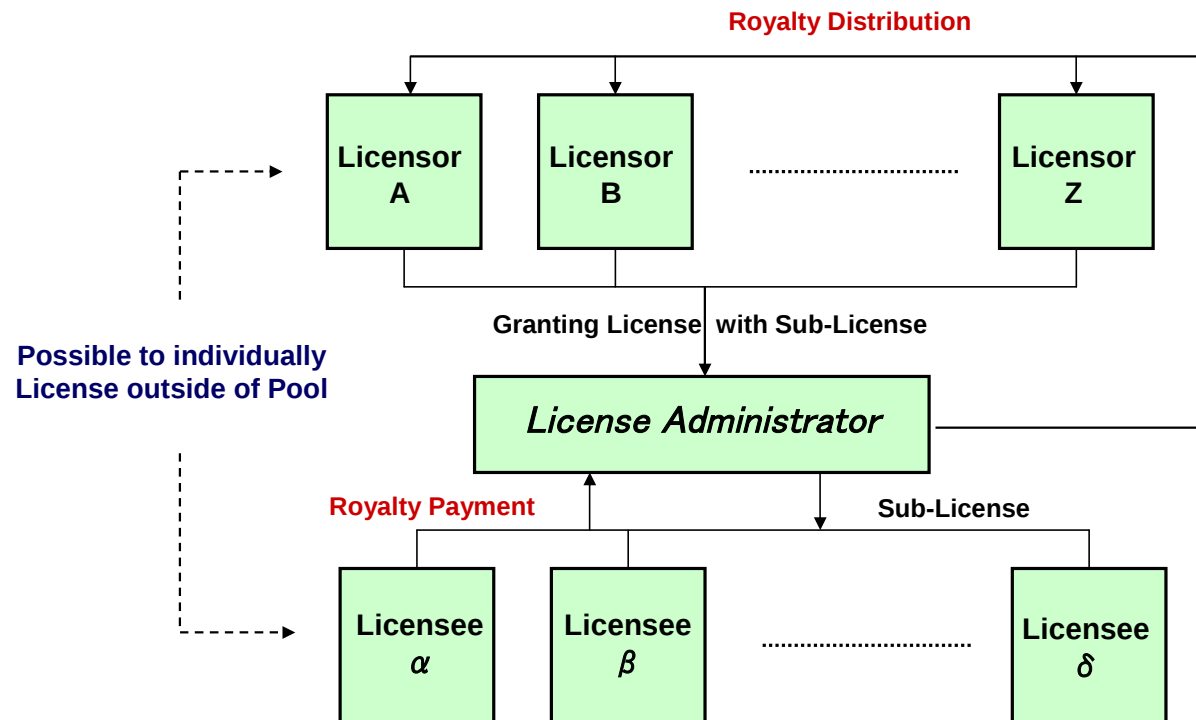
- (1) One-Stop Licensingの実現・・・多数の特許権者と交渉・契約する手間が省ける
- (2) 紛争回避効果・・・中立な第三者によって必須特許が選定される

- 短所 Demerit

- (1) 特許価値の最大化は困難・・・“全体としてRAND”の対価を実現しようとするのが目的
- (2) 無効特許が含まれる虞れ・・・通常、必須特許評価において、有効性までは審査しないため

3. パテントプールの基本構造

Structure of Patent Pools



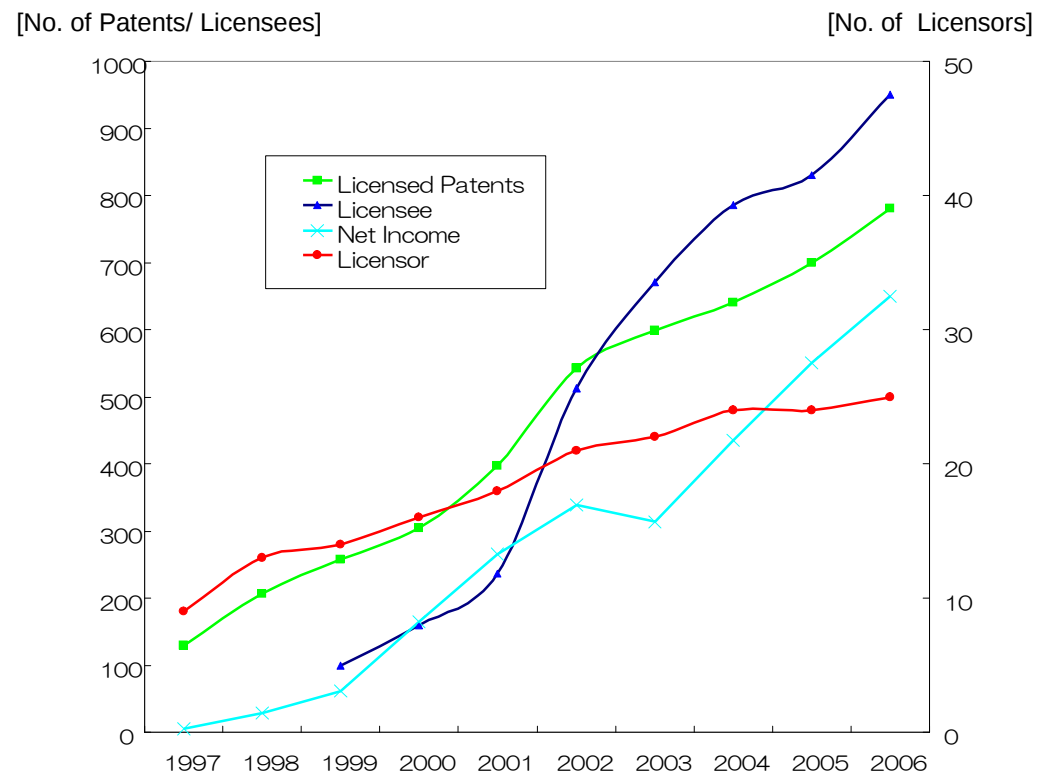
4. MPEG2パテントプールの例

Example of MPEG2 Patent Pool

- MPEG2技術とは [Feature of MPEG2 Technology](#)
デジタル動画圧縮の基本技術 (Digital TV, DVD, STB, etc)
- ライセンス開始 [Start of Pool Licensing](#)
1997年10月
- 参加者数 [Number of Licensors / Licensees](#)
Licensors: 25社 (JP12, US5, FR3, KR2, GB1, DE1, NE1)
Licensees: 1300社以上 (As of October, 2008)
- 製品捕捉率 [Capture Rate](#)
約 80%

5. MPEG2パテントプールの発展推移

Development of MPEG2 Patent Pool



*) The scale of "Net Income" is not shown because of confidentiality

6. その他のパテントプール例

Other Example of Patent Pools

L.A.	Patent Pools [Royalty Rate:US\$]	Remarks
MPEG LA	MPEG2 [2.5], MPEG2-System [0.25], MPEG4-Visual [0.25], AVC/H.264 [0.2], ATSC [5]	Video Codec
Toshiba	DVD(6C) [3~6]	DVD Format
Philips	DVD(3C) [3.5~8]	DVD Format
Via Licensing	MPEG2-AAC [0.1~0.45], MPEG4-Audio [0.12~0.5], IEEE802.11 [0.05~0.5]	Audio Codec
3G Licensing	W-CDMA [1~2]	Mobile Phone
Sipro Lab	G.729 [0.3~1.45], G.729.1 [0.99]	Voice Codec
Uldage	ARIB Digital Broadcast [2]	Broadcasting

7. パテントプールの現状の問題点

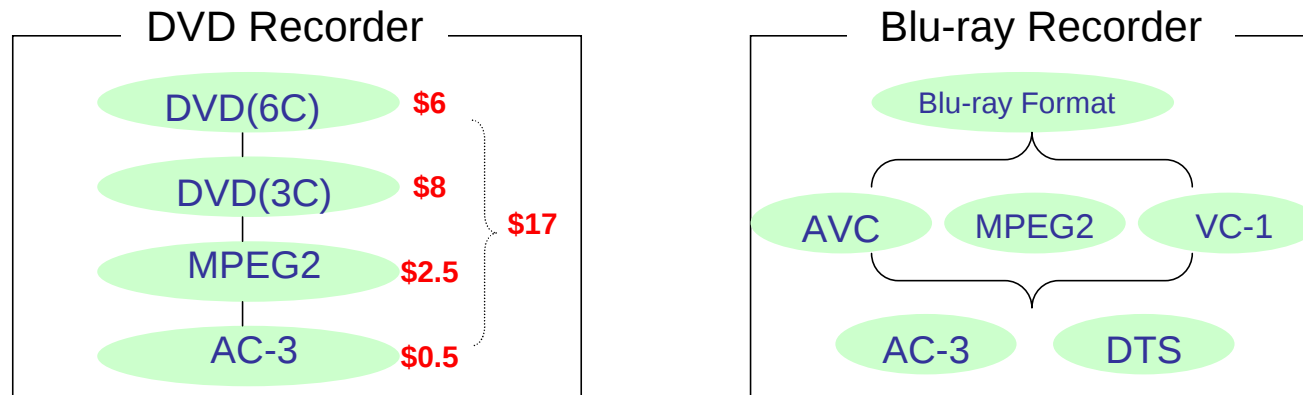
Current Problems Awaiting Solution

- プールロイヤリティの積上げ問題 Cumulative Royalties by Plural Pools
パテントプールは、技術標準ごとに成立させるのが原則(独禁法の要請)である一方、現代製品は技術標準の複合体。結果的にロイヤリティは非商業的積上げ
- アウトサイダー問題 Outsider Problems
パテントプールへの参加は任意であるから、原理上アウトサイダーの出現を防止することはできない。このようなアウトサイダーはより高いロイヤリティを追求する

8. 技術標準の連鎖(ロイヤリティ積上げの原因)

Chain of Standards (Cause of Cumulative Royalties)

(1) 光ディスクにおける技術標準の連鎖



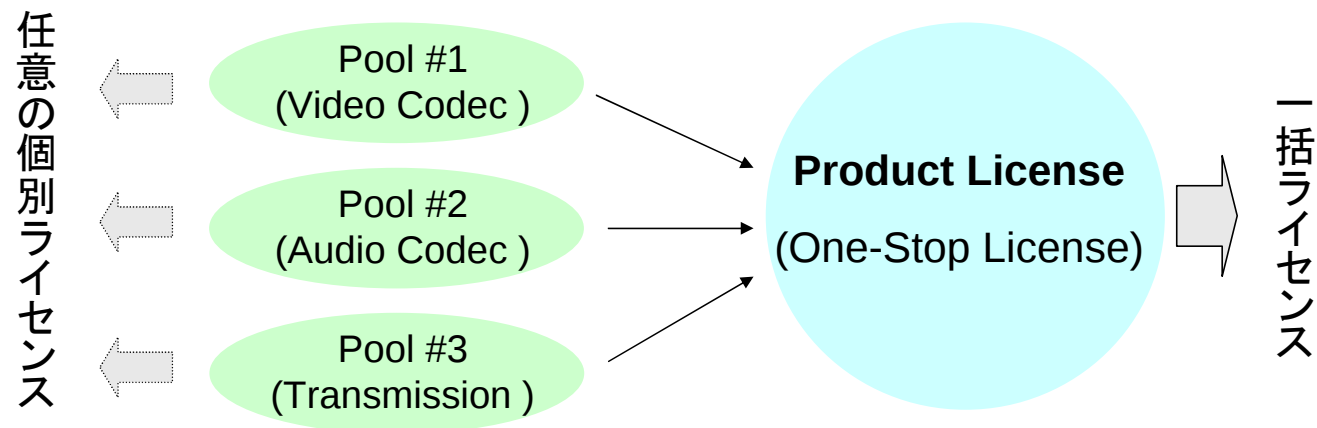
(2) Backward Compatibility

- 次世代Blu-rayは、現行DVDと互換性を要求される
- 携帯電話でも同様に Dual Mode機: GSM+3G+(LTE)

9. 次世代パテントプールのあり方

Next Generation of Patent Pools

- プロダクト・ライセンスの必要性 **Product License**



- ライセンス管理会社の協調(提携)が実現の鍵
Collaboration with License Administrators

10. アウトサイダー問題

Outsider Problems

- アウトサイダーとは [What is Outsider?](#)
必須特許を有しながらパテントプールに参加せず、
独自に高いロイヤリティを要求する特許権者
- アウトサイダーになる要因 [Why does it appear?](#)
 - (1) 開発専門企業であること・・・特許権が商品である
 - (2) 対象技術の中核部分に係る特許を保有している
こと・・・不可避な技術である

11. アウトサイダー問題の解決方向性

How to Solve the Outsider Problems

(1) インセンティブの付与 Give Incentives for joining Patent Pools

アウトサイダー化しやすい純粋特許権者には、配分率の厚遇などのインセンティブを与えたらどうか

(2) 権利濫用理論の適用 Apply the Principle of Abuse of Rights

広く産業界に普及したプールに参加しない合理的理由の立証責任は、アウトサイダーにあるのではないか

(3) 強制実施権の柔軟な活用 Compulsory License

一定の場合、プール管理会社に申立権を認めたらどうか

12. まとめ

Conclusions

- 電気・電子等分野では、パテントプールが普及し、その仕組みと効果は広く認識されるに至った
- 技術標準ごとにパテントプールが成立する原則のため、現代はプールロイヤリティの積上げが大きくなってきている。プロダクトライセンス化が喫緊の課題である
- アウトサイダー問題には、決定的な解決策はない。
法外な請求に対しては、権利濫用論に基づきプールロイヤリティを基準とする考え方が解決の至近距離だろうが、その他の多面的なアプローチも検討を要する

以上¹³